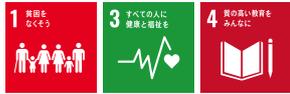


要請番号 (JL42426A08)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ヨルダン	G161 体育		個別	交替 3代目	2年	・2026/3・2027/1・ 2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

外務省

2) 配属機関名 (日本語)

パレスチナ難民局

3) 任地 (マダバ) JICA事務所の所在地 (アンマン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

パレスチナ難民局(DPA)は、ヨルダンに長年居住するパレスチナ難民への支援を監督・調整する行政機関である。国際機関である国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)は、実施機関として教育、福祉、保健衛生など、難民の生活向上を目的とした直接的な支援を行っている。JICAはこのDPAを通じてUNRWAに隊員を派遣しており、難民居住地域(アンマン周辺)やアンマン市内のUNRWA運営の学校で、教師として活動している。2026年1月時点で、計5名の隊員を派遣中。なお、ヨルダンの小学校では、男女別学が採用されており、男子校には男子教員、女子校には女子教員のみが配置されるという慣行がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パレスチナ難民向け小中学校では、進学試験の対象科目の指導に重点が置かれており、体育などの副教科は時間割に含まれているものの、実際には子どもたちにボール遊びをさせるだけなど、授業が適切に行われていない学校もある。さらに、専任教員が配置されている場合でも、施設や用具が不十分であったり、特に担任制を採用する1年生から3年生では、教員の意欲や技能不足が要因となり、体育指導の質が低下している。隊員はまず、生徒に対して授業実践を優先する。モデル授業や現地教員との協働授業を通じて、体育教育の意義や重要性の理解を促し、その後のステップとして、授業内容改善のための助言やワークショップ等の開催が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力し、以下の活動を行う。

1. 体育の授業を実施し児童生徒への学習機会を提供する。現在ヨルダンで中心となっているサッカー以外のスポーツや運動について紹介する。
2. 校内運動会などのイベント等を通じて、関係者に対して体育教育の理解促進を図る。
3. 教育分野の協力隊員や現地教員と連携し、授業改善を目的としたワークショップやイベントを開催する。
4. UNRWAの学校で活動する他隊員が実施する音楽会や運動会などのイベントを、可能な範囲で支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

サッカーやバスケットボールのゴール、各種ボール等

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・UNRWA教科総括主任(大卒・50代)

- ・ 学校長(大卒40～50代)
- ・ 教師(25～40代)
- ・ 生徒(1～5年生、児童生徒数40～50人/各クラス)

5) 活動使用言語

アラビア語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(小学校教諭があると望ましい)
(中学校又は高等学校教諭(保健体育)があると望ましい)

[学歴]：(大卒) 備考：同僚が大卒であるため

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：実技を見せる活動が必要のため

[性別]：() 備考：

[参考情報]：

- ・ 小学校低学年向けのスポーツ指導経験必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(0～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

隊員の活動校は、隊員の性別に基づいて決定される。

【類似職種】

- ・ 小学校教育
- ・ 青少年活動

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。